2023年度環境経営レポート

エコアクション21
認証番号0011627

（対象期間：2023年 8月～2024年 7月）

発行日：2024年　8月26日
改定日：2025年　1月17日

株式会社塚本電気設備

株式会社塚本電気設備

環 境 経 営 方 針

当社は、電気設備工事業の事業分野において、地球環境の保全のために、環境負荷の一層の低減を図るべく、全社一丸となって、自主的・積極的に環境への取組を推進します。また、環境経営システムの継続的改善を図ってゆきます。

１．　環境関連法規制や当社が約束したことを遵守します。

２．　二酸化炭素排出量の削減を推進します。（電気、ガソリン、軽油）

３．　事業活動に伴う廃棄物の削減を推進します。

４．　建設現場等での建設リサイクルを推進します。

５．　水道水使用量の削減を推進します。

６．　環境に配慮した電気工事を推進します。

７．　本方針を全従業員に周知徹底します。

制定日： 2016 年　6 月 9 日
改定3： 2021 年 7 月 15 日
代表取締役社長
塚本　高嗣

Ⅱ. 組織の概要

（１） 名称及び代表者名
株式会社塚本電気設備
代表取締役社長　塚本　高嗣

（２） 所在地
本　　社　　〒671-0232　兵庫県姫路市御国野町御着721-6
資材置き場　　〒671-0232　兵庫県姫路市御国野町御着317-2
大 阪 支 店　　〒530-0041　大阪府大阪市北区天神橋2丁目北1番21号
八千代ビル東館8階

（３） 環境管理責任者及び担当者の氏名と連絡先
責任者　　代表取締役副社長 塚本　恭央　　TEL:079-253-3133
担当者　　清水　順子　　FAX:079-253-0676
Email:info@tsukaden.co.jp

（４） 事業内容
電気工事、消防設備工事、電気通信工事及び管工事などの設計・施工、機械器具設置工事業、
電設資材及び家庭用・工業用電気機器の販売

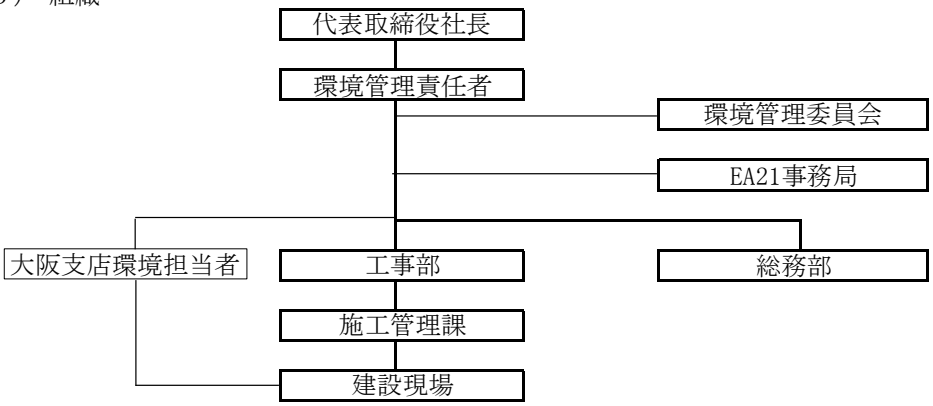
（５） 事業の規模
設立　　創業　　昭和36年10月
法人成　　平成5年7月

資本金　　4,000万円

建設業　　年間工事完成高　49,400万円（令和5年度）

	本社	資材置き場	大阪支店	合計
従業員	15名	-	1名	16名
延べ床面積	412.88㎡	101.8㎡	29.09㎡	543.77㎡
敷地面積	354.67㎡	161.8㎡	29.09㎡	545.56㎡

（６） 組織



	役割・責任・権限
代表者（社長）	代表者による経営における課題とチャンスの明確化 環境経営に関する統括責任及び環境経営方針（環境理念・行動指針）の制定と周知 環境管理責任者及び環境管理委員長の任命 環境経営システムの実施・管理に必要な資源の準備 環境経営システムの全体の評価と見直し・指示 環境経営レポートの承認
環境管理責任者 (環境管理委員長)	環境経営システムの構築と運用 環境教育計画、環境経営目標及び環境経営計画の承認 代表者への環境経営システムの実施状況報告 外部からの苦情・要望等の受付と対応、結果の記録 環境経営レポートの発行 緊急事態の対応策作成と訓練実施計画の立案と実施 法規制等の遵守状況をチェック 環境管理委員会の設置と運営
EA21事務局	環境管理責任者の補佐 環境関連法規制等取りまとめ表作成及び環境経営レポート作成、備付及び地域事務局送付 環境教育計画訓練案作成・実施、環境経営目標及び環境経営計画の立案・作成 環境経営状況の収集・取り纏め・課題の整理（環境負荷チェック及び取組チェック含む。） EA21に関する活動の諸手続・窓口担当及び文書類の管理
環境管理委員会 代表者以外の全従業員	EA21の運営機関 環境経営目標及び環境経営計画の審議 環境経営計画の改善状況の審議
環境管理副委員長 各部門長	省エネ（電力・燃料等）、水資源投入量及び紙資源等工事資材削減の推進 一般廃棄物の分別徹底と削減の推進 工事現場の苦情等応急対応及び環境負荷低減の推進（騒音、粉じん、廃棄物管理等） ・産業廃棄物削減の推進及び自動車燃費の向上推進・工事担当者及び協力業者員への教育訓練 ・環境管理責任者への工事における環境状況等の報告・緊急事態訓練実施
従業員	環境経営方針の理解と環境への取組の重要性を自覚 決められた事を守り、自主的・積極的に環境活動へ参加

（７） 事業年度　　8月～翌年7月

Ⅲ. 認証・登録の対象範囲

登録組織名:　株式会社塚本電気設備
対象事業所:　本社、資材置き場、大阪支店
活　動:　電気工事、消防設備工事、電気通信工事及び管工事などの設計・施工、機械器具設置工事業、電設資材及び家庭用・工業用電気機器の販売

Ⅳ. 主な環境負荷の実績

項　目	単位	2019年度	2020年度 基準年度	2021年度	2022年度	2023年度
二酸化炭素排出量	kg-CO_2	26,218	29,902	29,603	29,304	25,322
電力	kWh	12,600	14,244	14,943	14,084	14,482
ガソリン	L	7,155	8,167	7,624	6,014	6,223
軽油	L	2,014	1,850	1,628	1,554	1,783
廃棄物排出量	kg	21,133	20,885	24,350	22,329	25,292
一般廃棄物	kg	947	788	874	641	721
産業廃棄物	kg	20,186	20,097	23,476	21,688	24,571
水使用量	m^3	51	70	81	72	71

注）電力の二酸化炭素排出量への排出係数は、2022年度関西電力公表の調整後排出係数 0.434kg-CO2/kWh を使用。2019年度～2022年度も同様の係数で算出しております。
注）化学物質は使用していない。

Ⅴ. 環境経営目標及びその実績

（1）中期目標

項　目 ＼ 年　度		基準値 基準年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度
Ⅰ．二酸化炭素排出量削減	kg-CO_2	29,902	29,005	28,706	28,407	28,108
	対基準	2020年	△3%	△4%	△5%	△6%
電力使用量削減	kWh	14,244	13,817	13,674	13,532	13,389
	kg-CO_2	5,000	4,850	4,800	4,750	4,700
	対基準	2020年	△3%	△4%	△5%	△6%
ガソリン使用量削減	L	8,167	7,922	7,840	7,759	7,677
	kg-CO_2	18,947	18,379	18,189	18,000	17,810
	対基準	2020年	△3%	△4%	△5%	△6%
軽油使用量削減	L	1,850	1,795	1,776	1,758	1,739
	kg-CO2	4,773	4,630	4,582	4,534	4,487
	対基準	2020年	△3%	△4%	△5%	△6%
Ⅱ．廃棄物の削減						
一般廃棄物削減（焼却）	kg	788	764	756	749	741
	対基準	2020年	△3%	△4%	△5%	△6%
産業廃棄物排出量削減（混合廃棄物）	kg	20,097	19,494	19,293	19,092	18,891
	対基準	2023年	△3%	△4%	△5%	△6%
建設リサイクル率の推進	%	91.0%	91.0%	91.0%	91.0%	91.0%
	対基準	(2022年度基準)	維持	維持	維持	維持
Ⅲ．水使用量削減	m^3	70.0	67.9	67.2	66.5	65.8
	対基準	2020年	△3%	△4%	△5%	△6%
Ⅳ..環境に配慮した電気工事（照明器具のLED化）	台数	934	953	963	973	983
	対基準	(2022年度基準)	＋2%	＋3%	＋4%	＋5%

注1)化学物質は使用していないため、目標に設定しない。
注2)建設リサイクル率の推進については、2021年度にリサイクル割合の見直しと蛍光灯排出量の記録を始めた為、2021年度を基準値として用いる。
注3)環境に配慮した電気工事について、達成手段として「LED照明の推進」に加え「人感センサーの推進」「省エネエアコンの推進」を追加した為、2021年度を基準年度に用いる。
注4)2022年5月より産業廃棄物の電子マニュフェストへ移行し、確定数量が確認できるようになったため2024年度より2023年度基準年度とする。
注5)電力の二酸化炭素排出量への排出係数は、2022年度関西電力公表の調整後排出係数 0.434kg-CO2/kWh を使用。

（２）2023年度の実績

項　目 ＼ 年　度		2023年度の実績			
		目標	実績	達成度	評価
Ⅰ．二酸化炭素排出量削減	kg-CO_2	29,005	25,322	115%	○
	対基準	△3%	△15.3%		
電力使用量削減	kWh	13,817	14,482	95%	△
	kg-CO_2	1,755	6,285		
	対基準	△3%	1.7%		
ガソリン使用量削減	L	7,922	6,223	127%	○
	kg-CO_2	18,379	14,437		
	対基準	△3%	△23.8%		
軽油使用量削減	L	1,795	1,783	101%	○
	kg-CO2	4,630	4,599		
	対基準	△3%	△3.64%		
Ⅱ．廃棄物削減					
一般廃棄物削減（焼却）	kg	764	721	106%	○
	対基準	△3%	△8.5%		
産業廃棄物排出量　削減（混合廃棄物）	kg	19,494	24,571	79%	×
	対基準	△3%	22.3%		
建設リサイクル率の推進	%	91.0%	92.0%	101%	○
	対基準	維持	＋1.1%		
Ⅲ．水使用量削減	m^3	68	71	96%	△
	対基準	△3%	＋1.4%		
Ⅳ.環境に配慮した電気工事	台数	953	1,388	146%	○
	対基準	＋2%	＋48.6%		

注1）達成度欄にて、削減を目指す場合は、達成度＝目標÷実績×100%、増加を目指す場合は、達成度＝実績÷目標×100%

注2）評価欄にて、○：達成(達成度100%以上)、△：やや未達成(同95%～100%未満)、×：未達成(同95%未満)

注3）ガソリン使用量の減少については、近場の現場で乗り合わせが多かった為。

注4）環境に配慮した電気工事の増加については、照明取替の工事が多かった為。

注5）建設リサイクル率の実績値は、(22602.2kg/24571.0kg≒92%)となる。

Ⅵ. 環境経営計画及び取組結果とその評価、次年度の環境経営計画

◎よくできた　○まずまずできた　△あまりできなかった　×全くできなかった

取り組み計画	達成状況	評価結果と次年度の環境経営計画
二酸化炭素排出量の削減		（目標達成）
（下記の通り）		（下記の通り）
電力使用量の削減		（目標やや未達成）
・空調温度の適正化 （冷房28℃暖房20℃）	△	猛暑日が続いた為、適正温度を守る事が難しかった。健康状態を害さない様に、今後も気温に合わせて臨機応変に温度調整をしていく。
・不要照明の消灯	◎	不要照明の消灯を徹底する。今後も、こまめに消灯を心が
・設備の空運転禁止	◎	使用後は電源を切る事で未使用時の空運転を防ぐことができた。次年度も、左記取組を継続する。
ガソリン使用量の削減		（目標達成）
・急加速の抑制	◎	安全運転とエコを考え、取組めた。次年度も、左記取組を継続する。
・移動コースの効率化	◎	最短ルートで運転するように心がけが出来ている。 次年度も、左記取組を継続する。
・冷暖房抑制	◎	車内での休憩を出来るだけ省き、休憩室を協同で利用する事で、取り組みか継続できている。次年度も、左記取組を継続する。
軽油使用量の削減		（目標達成）
・急加速の抑制	◎	安全運転とエコを考え、取組めた。次年度も左記取り組みを継続する。
・移動コースの効率化	◎	最短ルートで運転するように心がけが出来ている。 次年度も、左記取組を継続する。
・冷暖房抑制	◎	車内での休憩を出来るだけ省き、休憩室を協同で利用する事で、取り組みか継続できている。次年度も、左記取組を継続する。
一般廃棄物の削減		（目標達成）
・分別によるリサイクルの推進	◎	市の分別に沿ってゴミの分別を徹底した。 今後も正確な排出量を把握しながら、削減に努める。
・ミスコピーの防止	◎	オンデマンド印刷うまく利用し、印刷前の確認ができている。次年度も、左記取組を継続する。
・裏紙の使用	◎	書類の電子化も進んでいる為、裏紙自体少なくなってきているが、今後も左記取り組みを継続する。
産業廃棄物発生量の削減		（目標達成）
・分別によるリサイクルの推進	◎	分別ができ、状態が把握できているが大きな工事の増加により目標未達成となった。 次年度も、目標達成に向け左記取組を継続する。
・資材の効率的使用	◎	再利用可能な仮設素材は再利用を徹底している。 次年度も、目標達成に向け左記取組を継続する。
建設リサイクルの推進		（目標達成）
・分別によるリサイクル推進	○	今後も分別を徹底しリサイクルに努めたい。
・仮設資材の再利用の推進	○	再利用可能な仮設素材は再利用を徹底している。 次年度も、左記取組を継続する。
水使用量の削減		（目標やや未達成）
・節水の周知徹底	◎	節水の呼びかけにより意識づけが出来ている。 次年度も、左記取り組みを継続する。
・洗車の節水	◎	バケツに水を溜めて使用する等して工夫できた。 次年度も、左記取組を継続する。
・樹木水やりの効率化	◎	水やりの頻度を決め、ペットボトルを使用して量を一定にする等工夫出来ている。次年度も、左記取組を継続する。
・清掃時・手洗い時の節水	○	より多くの工夫ができるようにする。 次年度も、左記取組を継続する。
環境に配慮した電気工事の推進		（目標達成）
・照明器具のLED化・人感センサー・省エネエアコンの推進	○	今後もより一層エコを意識し、左記取り組みを推奨していく。

Ⅶ. 環境関連法規等の遵守状況の評価の結果

法的義務を受ける主な環境関連法規制は次の通りである。

適用される法規制	遵守する事項	遵守評価
廃棄物処理法	保管基準の遵守、収集運搬・処分業者との適正な契約、電子マニフェストの登録	遵守
建設業の再生資源利用省令	再生資源、建設工事副産物の再利用 再生資源利用計画書、実施記録の作成	遵守
PCB特別措置法	PCB含有率調査申請請負 （含有調査申請のみ、引き取りなし）	遵守
自動車ＮＯｘ・ＰＭ法	規制対象車両の登録禁止 規制対象車両の指定地域通行禁止	遵守
低騒音・低振動型建設機械の規程	低騒音・低振動型建設機械の使用の促進（発電機）	遵守
消防法	消火設備の定期点検	遵守
フロン排出抑制法	フロン類使用機器の廃棄時の適切な処理、定期点検と記録の保存	遵守

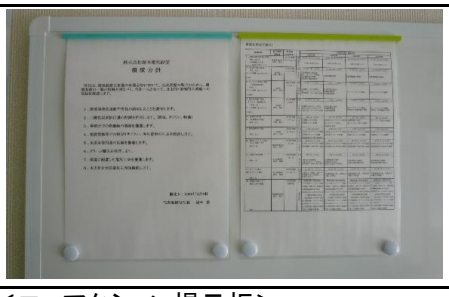
環境関連法規制等の遵守状況の評価の結果、環境関連法規制等は概ね遵守されていることを確認しました。
なお、環境法規制等への違反、訴訟、環境上の苦情等も過去３年間ありませんでした。
関係当局より違反等の指摘もありませんでした。

Ⅷ. 代表者による全体の評価と見直し･指示

2023年度は、当社最大の売り上げ記録を達成いたしましたが、全体的に2020年度の基準値に比べ大きく変化が無かった事を高く評価します。
電力使用量、水使用量、建設リサイクル率が若干ではありますが上がっている要因として、電気は年々夏の暑さが増してきている事、水は従業員の増加によるもの、建設リサイクル率は、受注する工事に応じて変化がある事と考えられます。
特に電気使用量は、年々上がっていくと考えられますが、毎年その対策（例えばサーキュレーターの導入、窓ガラスにUVカット加工等）をしていますが、今日の気温上昇には、追いつけていないように思われます。次年度以降も新たなる暑さ対策を講じるよう考えていきます。
尚、事業活動に大きな変更がないため、環境経営方針・目標・計画及び実施体制について変更いたしません。

2024年　8月　26日
代表取締役社長　　塚本　高嗣

Ⅸ. 環境への取組の紹介



＜エコアクション掲示板＞

＜ごみの分別＞

＜省エネ＞

＜省エネ＞

＜節水ポスター掲示＞

＜節水＞

＜建設リサイクルの推進＞

＜建設リサイクルの推進＞

＜産業廃棄物運搬車両①＞

＜産業廃棄物運搬車両②＞

＜産業廃棄物運搬車両③＞

＜エコドライブ10ポスター掲示＞